

新規実施項目のお知らせ

平素は格別のご高配を賜り厚くお礼申し上げます。
このたび、新たに下記の項目を受託開始しますのでご案内いたします。
ご利用いただきますよう、お願い申し上げます。

記

■実施日 令和元年 10月 15日（火）ご依頼分より

■新規実施項目

項目コード	検査項目	検査方法	基準範囲 (単位)	検体量 (mL)	容器	保存	所要 日数	実施料	判断料
2498-21	レジオネラDNA定性 <LAMP>	LAMP	陰性	喀痰 1.0	25	冷蔵	3~10	292	150 (微生物)

注)他項目との重複依頼は避けてください。

詳細については裏面をご覧ください。

● レジオネラ DNA 定性<LAMP>

レジオネラ症の迅速な診断と、早期治療にお役立てください。

レジオネラ・ニューモフィラ (*L. pneumophila*) は、自然界の淡水や土壌中に存在する細菌で、レジオネラ症における代表的な起炎菌の一つです。

レジオネラ症は、感染症法において4類感染症(全数報告対象)に分類されており、ヒトからヒトへの感染はなく、レジオネラ属菌に汚染されたエアロゾル(気体中に浮遊する微小な液体または固体の粒子)を吸引したことにより感染し発症します。主な病型としては、重症型といわれる「レジオネラ肺炎」と一過性で自然に改善する「ポンティアック熱」に大別されます。

特に、レジオネラ肺炎は急激に進行し、重篤となることから死亡率が高いといわれており、その起炎菌の多くは *L. pneumophila* serogroup (SG) 1 ですが、SG1 以外の血清型や、その他のレジオネラ属菌による症例も少なくありません。

LAMP 法を用いた本項目は、*L. pneumophila* SG1 を含むレジオネラ属菌 11 種の検出が可能な検査です。

▼疾患との関連

レジオネラ症、レジオネラ肺炎